

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

性差からみる膵癌化学療法の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月1日から2020年12月31日に昭和医科大学病院消化器内科で膵癌の化学療法をおこなった患者

2. 研究目的・方法

かつては膵癌（膵管腺癌＝PDAC）の死亡数は男性が女性を上回っていました。しかし2022年に女性の膵癌死亡数が19860人となり、男性は19608人と男女が逆転し女性の膵癌死亡数が男性を上回りました。一方、膵癌と診断された方が5年後に生存している可能性も10年前は7%程度でしたが、近年11.1%に伸び、手術療法、術前・術後を含む化学療法、免疫療法、重粒子線療法など膵癌治療に幅ができたことが一因と考えられます。治療効果が反映される傍ら、有害事象によって調整を余儀なくされるのが化学療法です。

PDACに対する化学療法における性差の有無と今後の個別化治療への示唆を得ることを目的として、PDACの死亡数において女性が男性を上回ってきた一因と推察されます化学療法による現在の状況を、電子カルテの情報で過去を遡って調べて検討します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年6月30日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

全て電子カルテ記載された過去の血液・尿検査値、性別・年齢・BMI・病歴・既往歴など問診の情報、CT・MRI・EUSの画像所見、手術や生検で得られた病理検査所見、炎症や免疫、栄養の指標（NLR、PLR、CRP/A1b）。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究代表者 昭和医科大学 医学部 内科学講座 消化器内科学部門 加藤 祥子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 医学部 内科学講座 消化器内科学部門 氏名：加藤祥子

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8535